

みずほCustomer Desk Report 2018/03/22 号(As of 2018/03/20)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.14
TKY 9:00AM	106.02	1.2337	130.82	1.4023	0.7708
SYD-NY High	106.61	1.2355	131.73	1.4066	0.7721
SYD-NY Low	105.93	1.2240	130.37	1.3983	0.7679
NY 5:00 PM	106.53	1.2240	130.43	1.4000	0.7682
NY DOW	24,727.27	116.36	日本2年債	-0.1600	▲1.00bp
NASDAQ	7,364.30	20.06	日本10年債	0.0400	0.00bp
S&P	2,716.94	4.02	米国2年債	2.3469	3.73bp
日経平均	21,380.97	▲99.93	米国5年債	2.6988	4.43bp
TOPIX	1,716.29	▲3.68	米国10年債	2.8987	4.40bp
シカゴ日経先物	21,345	170	独10年債	0.5810	1.35bp
ロンドンFT	7,061.27	18.34	英10年債	1.4835	4.00bp
DAX	12,307.33	90.31	豪10年債	2.6900	▲1.50bp
ハンセン指数	31,549.93	36.17	USDJPY 1M Vol	8.08	▲0.37%
上海総合	3,290.640	11.39	USDJPY 3M Vol	8.43	▲0.29%
NY金	1,311.90	▲5.90	USDJPY 6M Vol	8.61	▲0.29%
WTI	63.54	1.41	USDJPY 1M 25RR	-1.10	Yen Call Over
CRB指数	194.15	1.26	EURJPY 3M Vol	8.71	▲0.06%
ドルインデックス	90.37	0.61	EURJPY 6M Vol	9.00	▲0.07%

東京	東京時間のドル円は106.02レベルでオープン。朝方、105.99まで下落する場面も見られたが、翌日にFOMCの結果公表を控え、効率的な結果となることへの警戒感も燃る中、ドル円はポジション調整の動きが中心となり、106円台前半で小じっかりと推移。午後に入り、森友問題について27日に佐川前国税庁長官の証人喚問を実施するとの報道があったものの反応は限定的となり、同水準での推移が続く中、106.26レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は106.26レベルでオープン。序盤は、李中国首相が、一部の輸入関税撤廃と大幅な関税引き下げを目指すことと表明したことが、米金属関税に対して報復措置をとるとの見方も出ていただけに好感され、106.61まで上昇。しかし、両宮日銀副総裁が金利調整の可能性は排除しないと発言したことで、出口戦略が意識されると106.08まで売られる。一服後は、海外勢がドル円ショート持ち高を解消する中、反転し106.53レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.4038レベルでオープン。昨日、英・EUが、ブレグジット後の移行期間について大筋合意したことから、序盤はポンドが堅調ムードとなり、1.4066まで買われる。しかし、英2月CPが、前年比2.7%の上昇に留まり、予想の2.8%を下回ったほか、2017年7月以来の低い伸びとなったことで、英利上げ期待が遠のき、1.4006まで下落。1.4012レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	106.53レベルでNYオープン。朝方は翌日のFOMC結果発表を前に調整のドルショートカバーが強まったことから、ドル円は106.60まで戻す。その後は翌日のFOMC結果発表を控え、106.40付近での推移が続く。106.53レベルでクロスした。尚、G20声明で保護主義に対する直積的な言及はなかった。一方、ユーロドルは独3月ZEW景気期待指数が予想を大きく下回ったことから売りが強まり、またFOMC結果発表を控えたドルショートカバーも持ち込まれたことから上値を切り下げ、1.2296レベルでNYオープン。朝方は、海外市場の流れを引き継ぎ、短期的なサポートとされていた1.2260を抜け、1.2246まで下落する。その後やや買い戻される局面もあったものの、ドルショートカバーが継続し、ユーロクロスが売られる展開にユーロは下落し、1.2240レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【ユーロ円相場】

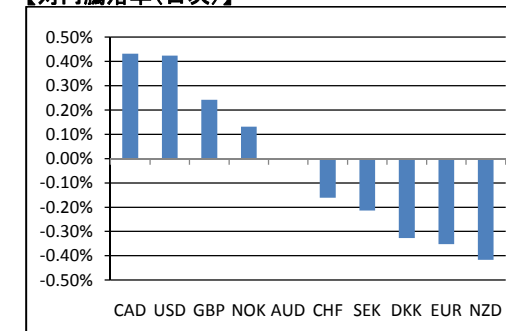


【ポンド相場】

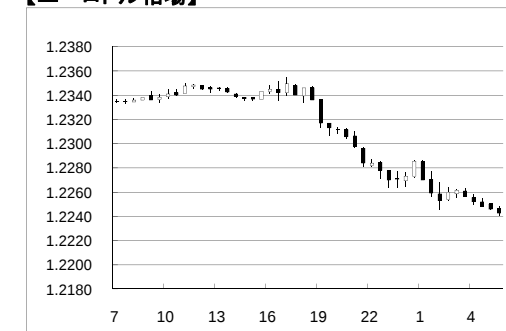


当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

【対円騰落率(日次)】



【ユーロドル相場】



【豪ドル相場】

